

広 報

富士川

町のメモ

昭和53年10月1日現在

| | |
|-----|----------------------|
| 人口 | 16,919人 |
| 増減 | +11人 |
| 男 | 8,396人 |
| 女 | 8,523人 |
| 世帯数 | 4,104世帯 |
| 面積 | 31.09km ² |

富士川町 総務課

10月号

昭和53年10月20日発行

No. 207



秋晴の
空高く

地震対策費を主体に 8,330万円を補正

昭和53年度一般会計予算 総額16億8,480万円に

町内6カ所に 広報無線を新設

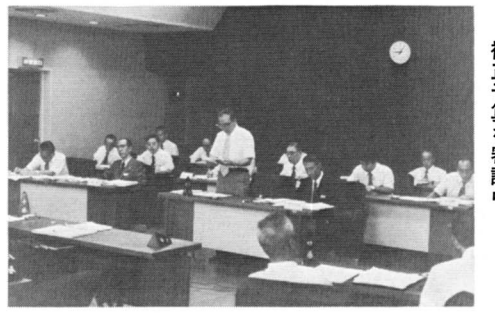
町議会の9月定例会は、9月20日（水）午前9時から議場で開催されました。一般質問8件を皮切りに、昭和52年度歳入歳出決算の認定や昭和53年度一般会計補正予算案の修正など8つの議案を審議し、各議案とも原案どおり可決されました。

昭和53年度予算は、国、地方公共団体と

も不況対策のため、公共事業等を中心に積極的予算が編成されています。一般会計補正予算は、八千四百三十万円で、予算総額は、十六億八千四百八十万円となりました。補正の主なものは、地震対策のため、広報無線、行政無線の充実です。

なお、補正の内容は次のとおりです。

- 総務費に一、二三四万円**
- ◇広報無線施設工事費に 七〇〇万円
 - ◇足ヶ久保桑木穴線、粒良野八棟線の舗装原材料費に 二一〇万円
 - ◇第二幼稚園増築工事費追加分に 一、三三四万円
- 民生費に六〇一万円**
- ◇老人福祉センター大会議室、老人憩の家冷暖房工事費に 三三三万円
 - ◇重度心身障害者医療費扶助に 一〇〇万円
- 衛生費に一、八六四万円**
- ◇浦原病院組合負担金に 一、三三三万円
 - ◇ゴミ焼却場施設補修工事費に 一六七万円
- 農林水産業費に三三五万円**
- ◇足ヶ久保桑木穴線、粒良野八棟線の舗装原材料費に 二一〇万円
 - ◇第二幼稚園増築工事費追加分に 一、三三四万円
- 土木費に一、七六二万円**
- ◇町道一号线（新坂）側溝工事費 六九六万円
 - ◇松野内房舗装修繕工事費その他 六九六万円
 - ◇小請負工事費（すくやる係）に 一〇〇万円
- 消防費に七四一万円**
- ◇地震対策関係事業費に (行政無線移動局増設整備、自主防災組織補助金) 五三一万円
- 教育費に一、七六〇万円**
- ◇第一中学校体育器具室新築工事 九三〇万円
 - ◇望月康江氏を、教育委員に再任 一、三三四万円
- 教育委員に 望月康江氏を再任**
- 9月30日で望月康江教育委員会委員（舟山町）の任期が満了するため、再任することについて、町議会の同意を得ましたこのことにより町長は、教育委員会委員に望月康江氏を、任命しました。



補正予算を審議中

母子福祉会の議会傍聴風景

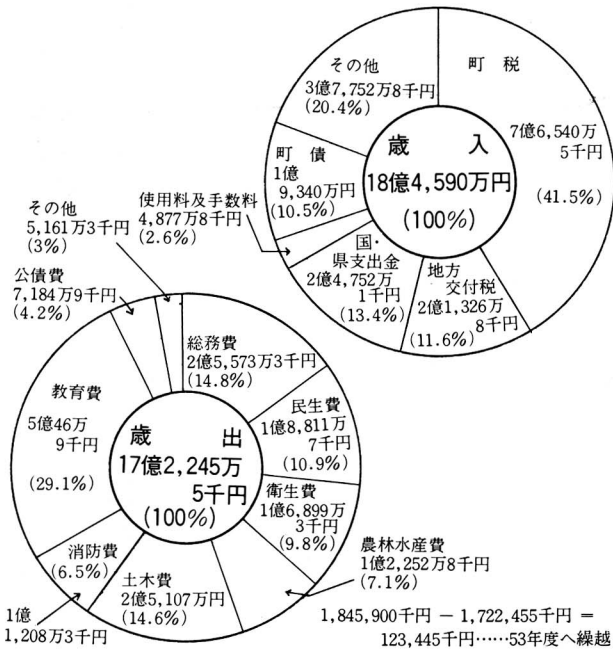


昭和52年度の 町の家計簿は 一般会計決算

昭和52年度の一般会計決算は、歳入額十八億四千五百九十九万円、歳出額十七億二千二百四十五万五千円で昭和53年度への繰越額一億二千三百四十四万五千円となります。

52年度の主な事業としては、広報無線施設5カ所や農免農道工事、四十九農道工事、吉津小山線舗装工事、小池区画整理舗装工事、富士川由比線落石防護工事、原地線改良工事、矢所沢ほか10カ所の護岸改修や浚渫工事、大塚窪公営住宅建設工事、耐震防火水槽工事、第二小学校増改築工事などです。

詳しくは、12月に財政事情の公表を発行いたします。



国民健康保険特別会計決算

国民健康保険特別会計決算は、歳入額二億六千二百五十四万八千円で、歳出額二億二千八百六十七万七千二百円、歳入超過額三千三百八十七万七千二百円は、昭和53年度へ繰越されます。

土地取得特別会計決算

土地取得特別会計の決算は、歳入額二千七百一十七万七千円で、歳出額二千三百七十七万七千円、歳入超過額三百万円は昭和53年度へ繰越されます。

水道事業企業会計決算

水道事業企業会計は、収益的収支勘定と資本的収支勘定の二勘定からなり、収益的収支勘定は損益を、資本的収支勘定は資産および資本を目的としています。

収益的収支勘定では、収入額七千六百二十九万五千円で、支出額は、五千七百三十五万七千円となり差引額一千八百九十三万八千円の純利益が計上されました。

資本的収支勘定は、収入額五千三万一千円で、支出額は、八千五百四十四万となり差引額三千二百二十三万円の不足となります。この不足財源は、52年度の損益勘定留保資金と未処理利益剰余金をもって補てんしています。

町議会を傍聴して

母子福祉会々長 尾崎光子

9月20日私たち母子福祉会々員18人は、町議会を傍聴する機会を得ました。国会などはテレビで見ますが、自分たちの町の議会を見学するのはほとんどの人が初めてです。どんな議題が出るだろうかという期待で傍聴席につきました。

当日は私たち女性だけでなく、男の方も数人見え、空席はありませんでした。きつと議員さんたちも討論に熱が入ったことでしょうか。私たちは、日頃町政に少なからず関心はありますが、時々配布される広報などに頼るだけです。それが生の議会をこの目で見肌で感じ、自分たちの身近かにいろいろの問題が山積していることを知りました。

それと同時に私たち町民も今町がどんな姿勢で、それぞれの問題に取りくんているかを知る事も大切だと思いました。

質問に立った議員さん、それに町当局側の応答を私たちは真剣に傍聴しました。いろいろの問題の中でも特に、町民の注目の的である、高校誘致の件などの経過報告に期待をもっていました。残念

ながら現状では思わしくないようです、がっかりしました。私が町議会の傍聴を通じて思ったことは、多くの審議されたものの中で、どれ一つを取っても意義のあるものばかりです。

そこで、この紙面を借りて、母子家庭の雇用問題の件につきまして、要望したいと思えます。幼い子をかかえた若い母親の就職、併せて子どもの就職もよろしくお願いたします。また先般、陳情書を提出しました、母子家庭の医療費助成についても、ぜひお願いいたします。私たちが会員は、母子、父子家庭の協力員としてお役に立たいと思っております。

私たちは町議会見学を機に、社会に眼を開き広い視野で物を見ることに努力したいと思えます。そして、もっと大勢の人たちが町政に関心を持って、議会を傍聴することを勧めます。



気軽な相談あい手

総合相談とは

町は毎月一回町民のみなさんのあらゆる心配ごと、悩みごとと民事上の問題、身の上相談など、すべての問題の相談に応じる総合相談所を開設して、町民サービスに努めています。そこで、総合相談を取材してみました。

総合相談所は、毎月20日（20日が日曜日や祭日の場合は19日）に老人福祉センターで開設されています。

総合相談の中には、行政相談と人権相談があり、町の行政相談委員、人権擁護委員が、みなさんの相談に応じています。

また、10月の相談日より法律相談（不定期）が設けられ、倉田弁護士が担当しています。

◎行政相談とは——
今までみなさんの中に、役場や

①説明を受けたが納得できない
②処置のしかたが間違っている
③このようにして欲しい

例えば「道路に穴があいていて通行に危険であるが、なかなか補修されない」とか「国民年金を受けたいが、どこへいったらよいか分からない。また、どうしたら受給できるか」などの苦情、質問、要望をもっていても、直接役場に行

| 行政相談 | 人権相談 | その他 | 相談件数 |
|--------------------------------|--|-------------------------|------------------------------|
| 道路・河川など 贈与税・相続税登記手続など 公害 | 借家・借地 離婚 相続 土地 不動産売買 交通事故 | 親子 登記訴訟 扶養 その他 | 182 116 122 11 4 |

※相談委員が自宅での相談件数は含まれていません。

町の相談委員

◎行政相談委員
齊藤 静晴
岩 淵 780（旭町）

◎人権擁護委員
天野 茂
南松野157（根方）
電話 85-2502

◎法律相談
倉田 雅年（弁護士）
清水市上清水町6-22
倉田雅年法律事務所
電話 53-0402

総合相談だより

行政相談委員 齊藤 静晴

行政相談とは「国民の行政に関する苦情、意見や要望等の申し出に応じて、その一つ一つの解決実現を図り、行政運営の改善に反映させる業務の事である」
私たちは、人権擁護委員の方々と心を一つにして、心配ごとのある町民の為に日夜努力し励んでおります。

例えば現在までの私たち相談委員の取扱事例を簡単に述べてみますと

- 土地の境界問題、登記の手續依頼方法
- 新築家屋の進入路、通路や道路有無の問題
- 借地料が他所の地価に対して高価すぎる
- 遺産相続の配分方法
- 離婚問題、その原因の合法的な手續のあり方
- 貸借用地の契約書、解約書や更新方法または、その必要性
- 新幹線公害、振動騒音防止対策

最近では、永年放置されておりました、相生町庚申堂の参道登記に際し、地元役員と役場職員の協力によって解決を見ました。この件に関しては、地元役員と役場職員の熱意に唯々脱帽するのみでした。

私たちは、いつでも、みなさんの身になり、相談に応じていきますので、心配ごとのある方は、ぜひ一度お出掛け下さい。

あそびなまじり

嫁と姑が うまく付合うには

半在家の老人クラブ長生会（清市郎会長）では、毎月第一日曜日の早朝区内の清掃を行っています

9月3日広報「富士川」で取材したところ、老人クラブの会員の中に若いお嫁さんや、孫たちも加わり奉仕作業に励んでいました。

あるおばあさんは「この清掃は私にとって健康増進と嫁との仲をうまくやってくるの効果があつた。と笑顔で語っていました。

なお、毎月14日は区内の八幡神社の清掃を行っています。



きれいな町は ほくたちの手で

日の出町では、毎週日曜日に小学生の子どもたちが「きれいな町は、ほくたちの手で」と、朝8時から約1時間、区内の清掃を行っています。この子どもたちの奉仕に田辺隆夫区長は「子どもたちの暖い心を区民に理解してもらい、親子で日の出町の明るい町づくりをしたい」と述べていました。

子どもたちが成長してゆく段階で、この様な奉仕作業を行うことは、親の多くの意見よりも貴重なものです。この暖い心を全町に広げたいものです。



40歳になった国民健康保険 保険税は遅延なく納めよう

病気やケガは、ある日突然に私たちがおそうことが多いものです。そんな時、お金がなくて医者にかかれぬというところになったらどうなるでしょう。肉体的・精神的苦痛だけでなく、経済的苦痛まで背負い込まなければなりません。

幸い、現在我が国には「国民皆保険」という制度があります。この制度は、普段からそれぞれの収入に応じてお金を出し合い、病気やケガがあつた時の医療費にあてようという、相互扶助を目的として運営されています。

私たちが、健康で明るい生活をおくるために、なくてはならない大切な制度です。

この制度の一環として、どこかの職場の健康保険にも加入していない人を対象に国民健康保険制度があります。

国民健康保険制度は、昭和13年に法律が施行されて、今年ですでに40年をむかえました。相互扶助をたてまえにして発足している制度である以上、被保険者のみなさん一人一人が納めていただく保険税が遅延のないよう確実に納入されないと正しい運営が困難になってきます。

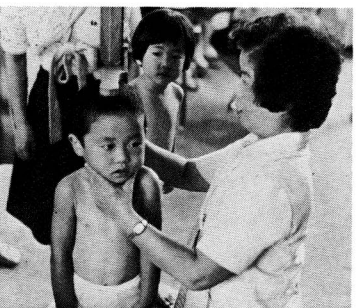
昭和52年度国保事業状況（庵原3町）

| 町名 | 世帯数 | 被保険者 | 保険税 | 1人当り保険税 | 1人当り費用 |
|------|-------|-------|---------|---------|--------|
| 富士川町 | 1,564 | 4,850 | 86,635 | 17,863 | 56,064 |
| 蒲原町 | 1,613 | 5,232 | 102,919 | 19,671 | 59,330 |
| 由比町 | 1,509 | 5,256 | 94,147 | 17,912 | 64,626 |

国保・優良家庭を表彰

国民健康保険法施行40周年を記念して、町では被保険者の中から特に優良家庭を選出して表彰します。

今回の表彰者は、国民健康保険に三人以上加入して一年間無病で医療費が支給されなかった家



庭、同じく二人加入して二年間無病であった家庭、一人加入して三年間無病であった家庭です。

表彰者は次のとおりです。（敬称略）

- ◇1年間無病の家庭
谷津倉良作 中村 短次
佐藤 孝行
- ◇2年間無病の家庭
51・4・1〜53・3・31
佐藤 富作 小林 智
朝比奈隆美
- ◇3年間無病の家庭
50・4・1〜53・3・31
庭野梅太郎 深瀬 良雄
望月 義明 深澤 満夫
山口タミエ 浅野 勝
平村 栄 宇佐美金作
井出 敏夫 吉沢 示郎
田辺 義勝 箕田 清一
石川 壽 芦川 和作

下水道側溝の整備に思う

Q 生活環境整備が叫ばれている

現在、当町では、し尿浄化槽の数は約900となり、家庭雑排水と共に側溝にほとんどを流入しています。これにより、きれいな水の流量は少く、汚水のみが側溝に流れている所も多く、悪臭と蚊の発生源となつています。また、側溝のないところや田圃道路等に流れ出て、種々の問題を起しています。

町民の声

+++

行なってくれる事になっていきます。また、国一西側の甲ぶたの改修もいつ出来る事やら、町のお骨折りを、お願い致します。

本通三 小永井 一雄

A 下水道計画については、ご指摘の通り、最近の水路や河川の汚濁が目にあまるものがあります。原因としては、急激な都市化現象による家庭汚水と簡易浄化槽の増加があります。また、ゴミや汚物の不法投棄されたものが滞流し、腐敗した事も、大きな公害となります。町としても、環境整備の抜本的施策として、公共下水道事業を昭和46年度より調査研究しています。しかし、この事業は①概算約30億円の巨額が必要である

②事業財源は、国や町、受益者負担が必要である

③終末処理場用地として約一万八千㎡が必要である

④終末処理場等、管理体制が必要である

⑤大規模事業であるため、広域都市計画事業(庵原三町の共同)として実施することが望ましい

以上の調整に数年を要するため現在考えている事業開始年度は

「怒れ！金太」が

朝日小学生新聞に連載

5月14日の「母の日」にちなんで朝日小学生新聞が全国から募集した「お母さんが書く短編小説」に、山本さんの「怒れ！金太」が選ばれました。

「怒れ！金太」が選ばれました。受賞に際して、山本さんは「初めて子どもをテーマにした作品で入選するなんて」、あきらめていたら入選の報があつて信じられなかった」と喜びを述べていました。この作品の主人公は牧場の息子金太です。乳牛の世話などをしてまめまめしく働いていたが、ある日教室で友人の千円札が紛失し、それが金太のカバンから現れた。友人のオカチンが仕掛けたワナと察したが、先生、父母などになだめられて怒りをこらえ、オカチンのわびる日待った。ついにその日がきた。それらの事件が、牧場学校、運動会などを背景にして、消極的だった金太の心に、怒りの心と、やるきが生まれ、正義感あふれる子どもに成長していくストーリーです。

山本さんは8年前に「何か子どもの事を書いてみたい」という切っ掛けで筆を取り、その後町文化協会が一年に1回発行する「文



郡身障スポーツ大会

身障福祉会々長 渡辺政志

秋空でよく晴れた9月10日の日曜日でした。庵原郡の身体障害者の会員とその家族は、蒲原の西小学校の体育館でスポーツ大会を開きました。富士川町の参加者は、松野地区が一番多く、大変好評でした。庵原三町の会員は、各町指定された座席に落付き、総会、表彰式もかねて、スポーツ大会と順次行なわれました。

体育館内は、あちらこちらで応援の声が聞こえ、暖かく、和かでした。同じ人間でありながら、各人障害が異つていますが、お互い



に理解を深め、出し切れる力を発揮できました。

風船リレー、玉入れ、夢の島ハワイ、ストレス解消など、13種類の競技を楽しみました。富士川町チームは、風船送り、宝船リレー、順送球で頑張り、ついに優勝を獲得しました。参加者は、この13回目の郡身障スポーツ大会の記念品を手に、みなニコニコ顔でした。



真剣にゲームに打込む選手

私たちが障害者にとって、物やお金を与えられるよりも、心のふれあう広場として最も充実した催しでした。これを機会に、家の中にとじこもつた人も心をついて楽しい行事を盛り上げて行きたいと思つています。これらは、決して一人や二人でできるものではなく、たった一度しかない人生を、多くの方の力で明るく、生き生きと造りたいと思つています。

私たちが弱い者は、決して一人では生きて行かれません。みんな誰かにお礼を申し上げます。これからもくじけず頑張りまふ。本当に、ありがとうございます。

戸籍の豆知識

(その2)

前回は本籍についてお話ししましたが、自分の本籍はどこにあるか考えられましたか。本籍は、いつでもどこへでも移すことができます。この手続きを転籍(てんせき)届といひます。この届出をするには筆頭者と配偶者がいっしょに届出をしなければなりません。

◎筆頭者とは

役場で戸籍簿本や抄本を請求するとき筆頭者はどなたですかと聞かれたり、何かの書類で筆頭者の氏名を書いたこともあるかも知れません。しかし戸籍を見て筆頭者という字はどこにも出てきません。戸籍を見ると一番はじめに本籍番地が書かれてあり、その下に「氏名」という欄があつて、ここに書かれてある人がその戸籍の筆頭者です。

筆頭者はほとんどの場合結婚(法律用語では婚姻といひます)により新しい戸籍ができます。

ますが、その際に、どちらの氏(姓)を名乗ったかによって決まります。おおかたは夫の氏を名乗りますが妻の氏を名乗る場合もあります。

この筆頭者は、一旦決まると変えることができませんので、ご主人が「妻が筆頭者であるから自分に変えたい」といっても変えられませんし、また、筆頭者が死亡したときでも変わりません。その点で住所の世帯主とは異なります。世帯主が死亡すると必ず次にその家族の主になる人が世帯主となるからです。ですから、例えば父(又は夫)が死亡したので筆頭者は母(又は自分)になったといふことはないのである。

昔の戸籍で戸主と呼ばれていた人があり、やはり戸籍の最初に書かれてありましたが、現在の筆頭者とは意味が違い、家族制度を中心とした昔の戸主は、その家の長であり、現在の世帯主と似たところがあります。筆頭者とは、一言で言えば読んで字のごとく、戸籍の最初に書かれている人のことです。

戸籍の窓

53・8・20～9・19

(敬称略)

おめでた

| 区名 | 出生児 | 保護者続柄 |
|-----|-------|-------|
| 相生町 | 原田 寿樹 | 満寿吉長男 |
| 上町 | 若月 千枝 | 眞查廣長女 |
| 舟山町 | 齋藤 正勝 | 長男 |
| 旭町 | 松井 洋人 | 勇次郎長男 |
| 〃 | 望月 美世 | 君平 三女 |
| 〃 | 齋藤 和啓 | 正義 長男 |
| 〃 | 宇佐美直美 | 秀幸 長女 |
| 新町 | 小野田有希 | 利夫 長男 |
| 四十九 | 杉山 朝信 | 久男 長男 |
| 〃 | 関 貴子 | 秀幸 長女 |

一里塚



10月初旬の野田山実相院には、秋の花が一面にゆれていた。ここに咲いている花の色をそれぞれに言葉でいうのは難かしいが、あえていえば小さい何々色ということになるのだろうか、清楚で奥ゆかしさを感じさせるものが多い。十種をこえるそれらの中で、私にわかるのはアザミとツユクサぐらいのものである。この窪地には周辺の山からしぼり出てくる水がある

| 区名 | 新 | 旧 | 姓 |
|-----|-------|----|----|
| 〃 | 吉田 剛 | 正伸 | 長男 |
| 〃 | 若月江利子 | 伸五 | 二女 |
| 〃 | 関 里美 | 芳裕 | 長女 |
| 宮町 | 佐野 俊一 | 勝彦 | 長男 |
| 小池 | 山脇 武 | 秀美 | 長男 |
| 本通一 | 深澤 静恵 | 好宣 | 長女 |
| 幸町 | 錦織佑季子 | 榮三 | 長女 |
| 〃 | 千田 光 | 昌由 | 二男 |
| 〃 | 志賀 正直 | 正由 | 長男 |
| 東町一 | 藤原 蒼子 | 一成 | 二女 |
| 南町二 | 松野 加奈 | 旬 | 長女 |
| 〃 | 小林 洋樹 | 英樹 | 長男 |
| 〃 | 望月 裕香 | 道允 | 長女 |
| 大北町 | 遠藤 恭子 | 義昭 | 長女 |
| 〃 | 芦澤 達也 | 猛 | 長男 |

よろこび

ようだ。何となく土に潤いがあって臭いも強い。食虫植物と思われる花もさいているから、きつと昆虫も多いのだろう。そういえば朽葉の様な色をした蝶たちが花を抱いているし、蜜蜂が羽音をたてて盛んに花心をかきまわっている。ここまで来るとさすがに下界の騒音が届いてこない。遠く近く、四十雀や頬白が囀っている。いささか時期はずれでもしろいのがさすがに長くは続かないようだ。今は人の気配のないことにお寺があって日ごとに人がお参りをしたという話をのんびり聞いているうち

かなしみ

| 区名 | 氏名 | 年齢 |
|-----|-------|-------|
| 木島 | 沢藤 正 | 治枝 菅原 |
| 東町二 | 岩崎 公一 | 峰子 井福 |
| 相生町 | 丸山彦之助 | 八一 |
| 〃 | 川口 正男 | 四三 |
| 上町 | 望月 さだ | 八二 |
| 堺町 | 中野 喜好 | 七三 |
| 川坂 | 小永井和弘 | 三七 |
| 宮町 | 西村 四郎 | 四九 |
| 小池 | 平尾 花野 | 七三 |
| 東町二 | 西村 しず | 七九 |
| 富士見 | 佐野幾太郎 | 八二 |
| 〃 | 和田 いよ | 八八 |
| 八幡町 | 二又川もと | 七〇 |
| 清水町 | 石川 トミ | 七二 |
| 大北町 | 宇佐美とら | 九〇 |

自衛隊協力会

今年度は68万円を計上

自衛隊と町民との相互理解と親睦をはかり、自衛隊の健全なる発展に寄与することを目的とした自衛隊富士川町協力会(常葉雅文会長)は、9月8日老人福祉センターで総会を開き、52年度決算、53年度予算、事業計画、役員選任などを決めました。

52年度の決算は、歳入八九一、七九三元、歳出七七〇、六五〇円になり一二一、一四三元を53年度に繰越しました。

また、53年度予算は、六八五、〇〇〇円になりました。

総会の最後に、板妻駐屯地司令兼第34普通科連隊長の安蔵幸造氏の記念講演が行なわれました。

総合相談

心配ごととはどんな事でも

お気軽にご相談下さい。

とき 11月20日(月)

9時30分より

ところ 老人福祉センター

編集覚書

「町民の声」に、みなさんのご意見、ご要望をお寄せ下さい。

81-1111 広報係



俳句会

南町 小沢吼素人
花苔をほめて隠寺を辞す言葉
湯上りの母も踏み込む虫の闇
慈悲心鳥童女は髪を垂したり
宮町 増井 冬木
大地が呼吸吹き返す刻秋立ちぬ
しのび寄る秋を登るや萬の花
南町 法月 幸子
紫陽花の水色垣に弥宜の家
盆過ぎぬ遠峯に大き星一つ
南町 影嶋 智子
日本の日焼にハワイ焼重ね
夏帯をきりりと締めて日本人
清水町 宇佐美裕子
かなかなや終りには母を頼みとし
ほうせん花の実のはじき飛ぶ無人
駅
南町 宇佐美幸子
朝夕のひぐらし家守ることが仕事
長泣き子に合せて鳴き出す油蟬
本通り 桐谷 純代
夜の秋の父母軽き咳一つ
新涼や北を旅する友の文
旭町 笠井みち子
心意気天にとどけよ盆踊り
袈裟ならぬ紋り浴衣でおけさかな
大北町 天野 たま
旧道に琴の音燈下親しみぬ
旧道に土橋あまたや十三夜